

ウイルス分離及び抗原検出情報 2016年

ウイルス分離(仙台市内医療機関)

	第5週(最終) 2月1日～	第6週(中間) 2月8日～	第7週(中間) 2月15日～	第8週(中間) 2月22日～
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	3	10	5	0
A(H3)型	2	1	0	0
B型(山形系統)	1	1	3	0
B型(ビクトリア系統)	2	0	2	0
C型	2	1	0	0
解析中	0	0	0	13
RSウイルス	1	2	4(2)	0
ヒトメタニューモウイルス	1	2(1)	4(3)	0
ムンプスウイルス	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0
エンテロウイルス	0	0	0	0
ライノウイルス	0	0	0	0
単純ヘルペスウイルス	0	0	1	0
サイトメガロウイルス	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス				
1型	0	1	0	0
2型	0	0	0	0
3型	0	0	0	0
4型	0	0	0	0
解析中	0	0	0	1
未同定	0	0	0	0
分離総数/検体総数	12/41	18/56	19/54	14/39

抗原検出状況(仙台医療センター)

	第5週 2月1日～	第6週 2月8日～	第7週 2月15日～	第8週 2月22日～
インフルエンザウイルス	46/186	15/108	10/85	13/78
A型	15	7	14	9
B型	-	3	1	4
RSウイルス	2/13	0/9	2/21	0/5
ノロウイルス	0/5	0/6	2/7	0/9
ロタウイルス	0/5	0/5	0/6	0/8
アデノ(便中)	0/5	0/5	0/6	0/7
アデノ(呼吸器)	0/14	0/17	0/16	0/11
アデノ(眼科)	0/0	0/0	0/0	0/0
※溶連菌	0/6	1/9	1/6	1/5
水痘帯状疱疹	0/0	0/0	0/0	0/0
単純ヘルペス	0/0	0/0	0/0	0/1

今週のコメント:

- ①インフルエンザウイルスが流行しています。ご注意ください。
ウイルス分離では、第3週まではA(H1)pdm型が多く分離されていましたが、第4週以降にはA(H3)型、B型山形系統、B型ビクトリア系統、C型も分離されており、とくに第7週からはB型の分離が増加しています。
- ②インフルエンザウイルスA(H3)型につきまして、2014～2015シーズンと同様に、MDCK(イヌ腎臓由来)細胞へ細胞変性効果が現れるまでの時間が長かかっており、結果として同定の実施が遅くなっています。
- ③第4週から継続して「ヒトメタニューモウイルス」が分離されています。

(文責:大宮)

なお、これらの成績は主に以下の医療機関から定期的に送られてくる検体を解析したものです。
*永井小児科医院、庄司内科小児科医院、仙台医療センター

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
臨床研究部ウイルスセンター 2016年3月2日